



## 図書館と博物館

土生田 純之



去る7月9日(月)から19日(木)までの10日間(日曜日を除く)、本館研修室で「古墳の土器・馬具」と称する出土品展示会を催した。これは文学部人文学科史学コース(2001年度から歴史学専攻)の専門科目、「考古学実習」に伴う発掘調査によって出土した遺物を公開・展示したものである。

今回の出土品は群馬県高崎市・剣崎長瀬西古墳群の出土品であるが、1996年度(5号墳・5世紀末)と、'98年度(27号墳・6世紀末、35号墳・7世紀中葉)の2カ年に渡って実施した発掘調査の成果である。前者が小規模な積石塚(方墳)で古墳自体の構造が特異なものであるのに対し、後者は一般的な円墳である。しかし須恵器・土師器の土器類を始め、馬具や矢鏃の鉄器等出土品の種類と量の多さが注目される。今回パネルによる解説の他、発掘現場の写真も取り入れて理解の助けとした。

見学者は計376名で、概ね熱心に観覧していた。また考古学専攻の大学院生やゼミ生も解説の役をかってくれ、好評のうちに終わることができた。見学者数については私の目論見より少なかったが、展示会の開催にあたって多大なご助力をいただいた図書館員によると、むしろ多いとのことである。しかし、条件を整えばさらに観覧者数が伸びること相違ないものと思われた。その一つに研修室の位置があげられる。図書館の入り口とは逆のしかもトイレの隣という目立たない場所にあるので、展示会の開催中も気づかない人が多かった。また奥まった位置にあることから、気づいても入りづらかったとの声も聞かれた。

ところで、「図書館のだけより」に展示会のことを長々と書いたが、読者の中にはいくら私が考古学の担当とはいえ、お門違いの文章だと思う人もいるだろう。そういう批判を予測の上、あえてこのようなことを冒頭に書いたのは筆者なりの主張があるからである。

図書館は書籍や記録・資料類を保管して閲覧に供する所であることはいうまでもないが、資料の中に考古資料も含まれてよいのではないかと思うのである。書籍以下の資料は互いが補完的関係にあることが多く、また一方を観る(読む)ことによって他方にも興味がわくというような関係にあるのではないだろうか。例えば1822(文政5)年、福岡県前原市の三雲南小路遺跡の一甕棺から「古鏡大小三十五面」そのほかが発見されたが、青柳種信による詳細な記録が残されている(『柳園古器略考』)。同遺跡は福岡県教育委員会によって1974~1975年に150年ぶりの発掘調査が実施されたが、その際出土した鏡片の中に文政期出土鏡の欠失部分であることが判明したのも含まれていた。これにより、青柳の記録の正確さとともに県教委による発掘成果の価値がさらに高まったのである。

さて上のような事例は数多く枚挙にいとまがないが、何も考古資料に限ったことではないだろう。美術資料や民俗資料にも同様の事例があるに違いない。本来これらは一体となつての活用が望まれるのである。

120年記念館に移った専修大学図書館は以前とは比較にならないほどの充実した内容で、常々その恩恵を受けている。しかし、何か物足りなさを感じていた。今回の展示会によってその何かははっきりとわかったのである。書籍を中心とする図書館の他、考古資料を始め美術や民俗等の資料を保管する場所が必要なのだというのが、こうして私の夢(もちろん夢に終わってほしくないし、多くの大学が既に有しているように)、つまり図書館とともに文化施設の双翼を担う総合博物館の建設が是非とも望まれるのである。

(はぶた よしゆき:文学部教授)

## 役に立つURL案内

一昔前までは、本の情報を調べようと思ったら、図書館に行き、大きくて重い目録を何冊も調べなければなりません。しかし最近は、インターネットにつながっているパソコンさえあれば、どこでも簡単に調べることができます。すでにネット書店の検索機能などを上手に利用している方も多いことでしょう。書店のサイト以外にも図書検索に便利なサイトがいくつかあるので紹介します。

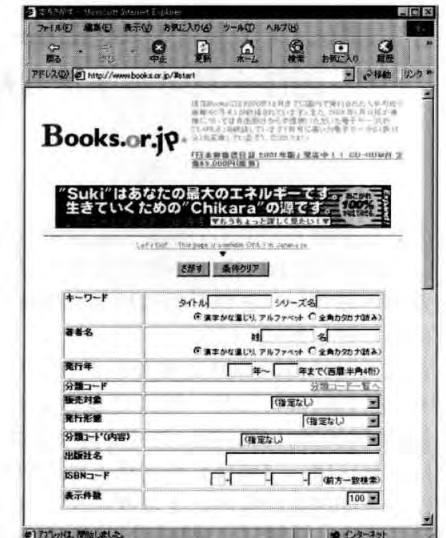
### 1. 国立国会図書館-WebOPAC (<http://webopac2.ndl.go.jp/>)

国立国会図書館が所蔵する和図書データ(1948年以降受入分のみ・約200万件)、および洋図書データ(1986年以降受入分のみ・約20万件)を検索することができます。絶版本など一般では入手不可能な図書の情報も検索できます。図書館を通じて借用を申し込むことができる図書もあります。



### 2. 日本書籍出版協会-Books.or.jp (<http://www.books.or.jp/>)

国内で発行された入手可能な書籍の書誌データを検索することができます。書誌情報のほか



に出版社の住所や電話番号、ホームページなどの情報も充実しています。

### 3. 東京大学附属図書館 -BOOK CONTENTS (<http://contents.lib.u-tokyo.ac.jp/contents/top.html>)

東京大学が所蔵する図書の「目次情報」や「内容情報(要旨・帯・カバーからの情報)」を検索できるデータベース。従来の著者名や書名からの検索方法では探すことができなかった図書を探し出せる可能性があります。



特別展示

# 「美しい書物の世界」

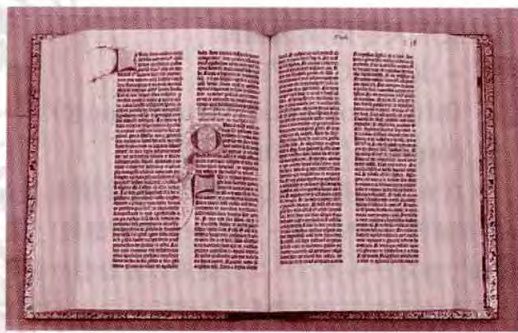
## —西洋中世の写本から初期刊本まで—の開催にあたって

図書館長 久重忠夫

このたび本館での生田分館開館記念第3部として、「美しい書物の世界—西洋中世の写本から初期刊本まで—」という特別展示を開催することになりました。

これは今年4月～5月に開催した展示「文字遺産集成」(第1部)、5月～10月に継続したVTR上映「書物5000年」(第2部)に続く行事です。

今回の展示は、『聖書』を初めとする中世の写本から、印刷術の発明によるゲーテンベルクの『42行聖書』を経て、西暦1500年以前のインキュナブラとよばれる初期刊本に至る書物の展示です。



**ゲーテンベルクの「42行聖書」マザラン版**  
ファクシミリ版 パリ マザラン文庫所蔵  
17世紀フランスの宰相マザランの文庫から見つかった聖書。現存する48のゲーテンベルク聖書のなかでも、最も美しいものの一つとされている、1455年頃。

ただ美しい装飾の入った中世写本は、世界に1点ずつしか存在しません。優れたものは、各国の文化を代表する図書として図書館などの至宝ですし、ゲーテンベルクの『42行聖書』も世界に48点が現存するといわれている。しかし幸い、最近のファクシミリ本制作技術の進歩で、世界に1点しか存在しない中世写本も、複製によって見る事が出来るようになりました。本学図書館でも、『聖書』『時祷書』『黙示録注解』『カンタベリー物語』など写本のファクシミリ本、さらにゲーテンベルク『42行聖書』のファクシミリ本を収集してきました。



**「ベリー公のいとも美しく聖母時祷書」**  
ファクシミリ版 フランス国立図書館蔵本  
14世紀から15世紀初頭のフランスの王族ベリー公ジャンが所蔵していた時祷書。装飾ページはきわめて個人的で、線装飾にすぐれている

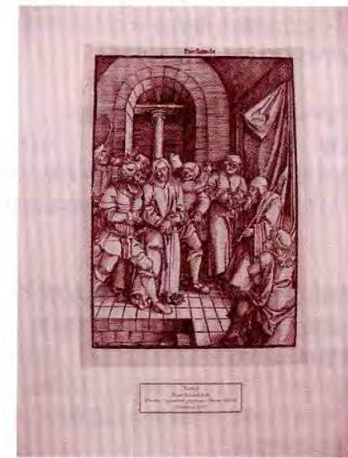
それに加えて零葉と言われている1枚ずつの断簡ではありますが、羊皮紙などに書き写された中世写本のオリジナルの零葉や、ゲーテンベルク以後の木版入刊本の零葉など、本学図書館の収集してきた文献をファクシミリ本とともに今回一括して展示することにしました。



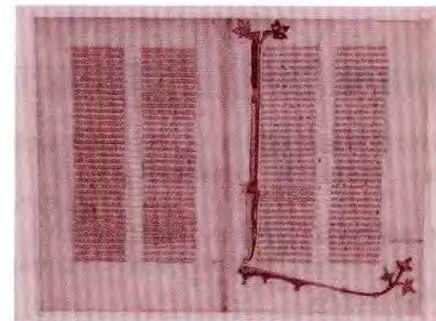
**「ベアトゥス黙示録注解」アローヨ写本**  
ファクシミリ版 フランス国立図書館蔵本  
黙示録の終末のヴィジョンを鮮烈な色彩と大胆なフォルムによって表したベアトゥス修道士の注解書(12～13世紀)。



**「カンタベリー物語」(エレスミヤ写本)**  
ファクシミリ版 ハンティントン・ライブラリー蔵本  
「エレスミヤ写本」は15世紀初期に作成された「カンタベリー物語」の最も美しい装飾の写本。



**「16世紀印刷本の木版挿画」**  
ドイツ、スイス、ネーデルラント、フランス、スペイン及びイタリアで1502～1580年の間に刊行された木版入印刷本のオリジナル零葉 全100点。



**「聖書：ヨハネによる福音書を含むパイフォルム」**  
パリ制作  
「ヨハネによる福音書」第18章の29節までを含んだ写本の零葉。ピンクと青に白のドットと破線のペンワークと金をあしらったL字型の装飾が描かれている。



**「時祷書：聖母の戴冠の細密画を含む零葉」**  
ブリュージュ制作 1450年頃  
ほぼページいっぱい「聖母の戴冠」図が描かれ、金、紫、青、オレンジなど色彩が鮮やかである。

和漢書には和漢書的美しさがありますが、西洋の写本の場合、それぞれが王あるいは貴族・大司教などの発注によりますから、羊皮紙などに写字生が細心に文字を写し、費用を惜しまず貴重な金や岩絵具などによる華麗な装飾がほどこされ、革によって装丁された書物で、それ自体が芸術品です。今回多くはファクシミリによる展示ですが、そのような書物の美を鑑賞していただきたいと思ひます。

図書館ではこのように折に触れて図書の展示を行います。それは書籍文化史の中で永い価値をもつ図書を広く利用者の方々に見ていただき、時の重みに耐えてきた書物の存在を実感していただくこと、また自分もそのような永遠の価値をもつ書物を創造する営みに加わろうという意欲を起していただくことにその意義があると考えられるからです。今回の展示を機会に、永遠の価値をもつ美しい書物について皆さんに何かを感じていただければと願っています。

図書館生田分館開館記念 第3部  
特別展示  
**「美しい書物の世界」**  
—西洋中世の写本から初期刊本まで—  
日時：2001年11月1日(木)～11月30日(金)  
平日 9時～17時 土曜日 9時～12時  
場所：専修大学図書館研修室  
ブラウジング・プラザ

# 新収図書案内

## 本館

1. 消える本、残る本 永江朗著 編書房 2001 (K020/N 13)  
極端な新刊偏重に走る現在の出版界でひっそり消える本もあれば、確実に残る本もある。生き残る本とはどんな本なのか。
2. 一度なら許してしまう女一度でも許せない男 一嫉妬と性行動の進化論— デヴィッド・M・バス著 三浦彊子訳 PHP研究所 2001 (K141/B 95)  
相手の隠れた欲望を知れば、今よりうまく付きあえる。アメリカの代表的な進化心理学者が、女と男の間のナゾを紐解く。
3. 愛を育てる食べ物壊す食べ物 ウイリー・バジニ著 大久保昭男、川本英明訳 小学館 2001 (K141/P 26)  
人間の感情の発達に深く関わる食べ物と性の知られざる関係を、豊富な引用で解き明かす。
4. 図説三国志の世界 劉煒編著 氣賀澤保規編訳 大修館書店 2001 (K222/R 98)  
中国から提供されたカラー写真をふんだんに使い、戦乱絵巻「三国志」の壮大なドラマと歴史の真実を丹念に追う。
5. アインシュタインここに生きる アブラハム・バイス著 村上陽一郎、板垣良一訳 産業図書 2001 (K289.3/P 16)  
物理学者であると同時に、何年にも互りアインシュタインと親交のあった著者が、新しい発掘資料やエピソードを盛り込んで描きあげた人間像。
6. 南極へ行きますか 神沼克伊著 出窓社 2001 (K297.9/Ka 37)  
南極行十数回の著者が、次世代の子どものために、南極体験の意義と観光のルール作りを提言する日本初の「南極観光読本」。
7. 犬人怪物の神話 一西欧、インド、中国文化圏におけるドッグマン伝承— デイヴィッド・ゴードン・ホワイト著 金利光訳 工作舎 2001 (K388/W 68)  
西欧・インド・中国の神話や旅行記・史書に数多く登場する犬人＝ドッグマン。この異形の者たちはどこから生まれたのか。

8. 日本のタンポポとセイヨウタンポポ 小川潔著 どうぶつ社 2001 (K479/O 24)  
都市部を中心として、タンポポは外来種ばかりという状況になった。二十余年にわたる調査により実証される自然環境の変化。
9. スパイス戦争 一航海時代の冒険者たち— ジャイルズ・ミルトン著 松浦倫訳 朝日新聞社 2000 (K678.2/M 29)  
黄金より貴重なスパイス、ナツメグの支配権をめぐって血なまぐさい戦いを繰り広げるイギリスとオランダの香料残酷物語。
10. バベルの神話 一芸術家と文化政策— クロード・モラル著 諸田和治、阪上脩、白井泰隆訳 法政大学出版局 2001 (K709/Mo 23)  
現代世界の急激な変貌により未曾有の困難に直面している芸術・文化活動を復活させるためにはどのようなシステムが必要なのかを模索する。
11. 薬師寺への道 一大唐西域壁画— 平山郁夫著 集英社 2001 (K721/H 69)  
20年の歳月をかけて完成した薬師寺玄奘三蔵院画殿の大壁画にいたるまでの、画家自らが語る玄奘三蔵のこころ。
12. 20世紀のベストセラーを読み解く 一女性・読者・社会の100年— 江種満子、井上理恵編 学藝書林 2001 (K910/N 73)  
『金色夜叉』から『サラダ記念日』『家族シネマ』まで、ベストセラーの魅力や背景を独創的かつ斬新な調査と考察で迫る評論集。
13. シャーロック・ホームズ大事典 小林司、東山あかね編 東京堂出版 2001 (R930/Ko 12)  
ヴィクトリア朝時代の文化と、物語の読み方にも力点をおいた「ホームズ百科事典」。19世紀の英国文化に関心のある人にも役立つ。

## 神田分館

1. 君は教育勅語を知っているか 一「神の国」の記憶— 津田道夫著 社会評論社 2000 (155/Ts 34)  
教育勅語を中軸とした戦前の教育は、日本人をどこに導いていったのか。現在の教育勅語再評価の動きを批判的に検討する。
2. 偽善の爆発 一時事問題講義— ビートたけし著 新潮社 2000 (ラッコブックス 初級人間学講座1) (304/B 48)  
少年法、警察不祥事、介護保険法、日韓W杯・・・日本の抱える諸問題を「たけし教授」が誰よりもわかりやすく解説する。

3. 「困った」裁判官 一独占公開! 日弁連「問題裁判」実例アンケート— 宝島社 2001 (別冊宝島 Real #006) (327/Ko 61)  
非常識な事実認定、意味不明の判決文、裁判官の傲慢な態度。司法改革論議が高まる中で、「公平で「開かれた」裁判」とは。
4. 僕は「奴隷」じゃない 一中学生「5000万円恐喝事件」の闇— 中日新聞社会部編 風媒社 2000 (367/C 65)  
ごく普通の家庭に育った少年たちが、なぜ「暴走」したのか。「暴力ゲーム」に狂奔する少年たちの心の闇に迫る。
5. 生き方のかたち 一現代社会と若者— 池谷壽夫、小池直人、高木備太郎著 かもがわ出版 2000 (367/I36)

- 現代社会に蔓延する病的な社会現象の解決のために、「つながること」の重要性を説き、そこからの新たな出発を提言する。
6. 西洋美術の歴史 H・W・ジャンソン、アンソニー・F・ジャンソン著 木村重信、藤田治彦訳 創元社 2001 (702/J 23)  
美術史の世界的権威ジャンソン博士父子による、もともと標準的な西洋美術の通史。
  7. 脱芸術/脱資本主義論 一来るべき「幸福学」のために— 熊倉敬聡著 慶應義塾大学出版会 2000 (704/Ku 33)  
半プロダクション、複属、地域通貨・・・がんばらなくてもいい社会に向けて考えたいこと、現代芸術についてまとめた文章。

## 図書館業務日誌 4月～9月

### ●オリエンテーション・講習会

- 【本館】  
4月7日：新入生オリエンテーション(学部学生)  
4月10日：新入生オリエンテーション(大学院)  
4月12日～16日：図書館ツアー  
4月17日～19日：OPAC講習会
- 【神田分館】  
4月6日：新入生オリエンテーション(II部)  
4月6日～随時：図書館ツアー  
9月28日～10月12日：情報検索講習会

### ●展示

- 【本館】  
4月2日～5月18日：西洋文字遺産集成—文字の出現から書物へ—  
4月9日～5月31日：死者の書—エジプト誌—  
5月7日～10月31日：ロゼッタストーンの見聞  
6月4日～6月31日：専修大学図書館所蔵古典籍  
7月2日～9月7日：みだれ髪—100年の情熱—  
7月9日～7月21日：古墳の土器・馬具—剣崎長瀬西遺跡出土品展—
- 【神田分館】  
4月2日～5月31日：画集をもっと見よう。もっと読もう。  
5月11日～5月17日：古典籍への誘い—専修大学図書館所蔵古典籍展示—  
6月2日～6月6日：フランス革命資料展(特別展)
- 【生田分館】学生団体および学生による展示 ※( )内は主催者  
4月2日～5月18日：日本漫画の概要(漫画研究愛好会)  
5月21日～6月20日：韓国文化の紹介(韓国留学生会、韓国語・韓国文化研究愛好会)  
6月21日～7月19日：「ギルドハウス」の歴史を振り返る(ジャーナリズム研究同好会)  
9月17日～10月16日：エチオピア文化の紹介(大学院商学研究科アイエレ・メシエヤ)

### ●ビデオ上映会

- 【本館】  
4月18日～10月17日：書物5000年 全13回
- 【生田分館】  
生田分館開館記念上映会  
4月20日：「ギルバード・グリーブ」  
5月15日：「キャバレー」  
5月22日：「12人の怒れる男」

### ●オープンライブラリー

- 【本館・生田分館】  
7月23日～9月7日：高校生・受験生

### ●主な見学

- 【本館】  
4月3日：西北大学学長  
4月24日：ネブラスカ大学教員  
4月26日：栃木県立小山高等学校生徒  
4月27日：千葉県立四街道高等学校生徒  
5月11日：神奈川県立新城高等学校生徒  
5月14日：長野県立赤穂高等学校生徒  
6月7日：狭山ヶ丘高等学校生徒  
6月13日：武南高等学校生徒  
6月14日：専修大学附属高等学校生徒  
7月21日：AO入試説明会参加受験生  
7月26日：ネブラスカ大学学長夫人  
7月29日：育友会神奈川支部会員
- 【神田分館】  
4月12日：岩手県花巻中学校生徒  
4月24日：岩手県山田中学校生徒  
4月28日：専修大学新入職員  
5月9日：埼玉県立春日部高等学校生徒  
5月16日：奈良県橿原中学校生徒  
9月6日：山形県高畑町立中学校生徒
- 【生田分館】  
6月14日：専修大学附属高等学校生徒

## 図書館カレンダー

月	11月		12月		1月	
日	木	鳳祭	土	休館	火	休館
1	木	鳳祭	土	休館	火	休館
2	金	鳳祭 <small>生田分館のみ休館</small>	日	休館	水	休館
3	土	休館	月	<small>学部学生冬期特別貸出取扱終了</small>	木	休館
4	日	休館	火		金	休館
5	月		水		土	休館
6	火		木		日	休館
7	水		金		月	
8	木		土		火	
9	金		日	休館	水	
10	土		月		木	
11	日	休館	火		金	
12	月		水		土	
13	火		木		日	休館
14	水		金		月	休館
15	木		土		火	
16	金	<small>大学館生冬期特別貸出取扱終了</small>	日	休館	水	
17	土		月		木	
18	日	休館	火		金	
19	月		水		土	<small>本館・生田分館のみ休館</small>
20	火		木		日	休館
21	水		金		月	<small>学部学生冬期特別貸出取扱終了</small>
22	木		土		火	
23	金	休館	日	休館	水	
24	土		月		木	
25	日	休館	火		金	
26	月		水	<small>学部学生冬期特別貸出取扱終了</small>	土	
27	火		木	休館	日	休館
28	水		金	休館	月	
29	木		土	休館	火	
30	金		日	休館	水	
31			月	休館	木	

- 本館：9:00～20:00  
(土曜日 9:00～18:00)  
生田分館：9:00～19:00  
(土曜日 9:00～18:00)  
神田分館：9:00～22:00  
(土曜日 9:00～22:00)
- 本館：9:00～17:00  
(土曜日 9:00～12:00)  
生田分館：9:00～17:00  
(土曜日 9:00～12:00)  
神田分館：9:00～19:30  
(土曜日 9:00～14:30)

## 開館情報 (11月～1月)

- 鳳祭 (11月1日(木)～4日(日))、神田鳳祭 (10月19日(金)～21日(日)) 開催期間中の開館時間は、本館・神田分館とも通常どおりです。  
\* 11月2日(金)は生田分館は休館になります。  
(神田鳳祭期間中は通常に開館します。)
- 体育祭 (10月25日(木)) 当日の開館時間は以下のとおりです。  
開催の場合 本館・生田分館は休館  
神田分館17:00～22:00開館  
中止の場合 各館とも通常に開館
- 休館日  
10月30日(火)：大学記念日  
12月27日(木)～1月6日(日)：冬期休暇

## 冬期特別貸出について

12月27日(木)から1月6日(日)までの冬期休暇にともない、下記の要領で実施します。

## 学部学生

取扱期間 12月3日(月)～12月26日(水)  
貸出冊数 10冊まで  
返却期限日 平成14年1月15日(火)

## 大学院生

取扱期間 10月22日(月)～11月16日(金)  
貸出冊数 30冊まで  
返却期限日 平成14年1月15日(火)

## 情報検索講習会&lt;本館&gt;

図書館の情報検索コーナーでは、オンライン、CD-ROM形態のデータベースが利用できます。レポート・卒論準備のための資料集めに役立つ、これらのデータベースの使い方を講習します。

## &lt;本館&gt;

日時：11月5日(月)～9日(金)  
時間：①10:00～11:40  
②14:40～15:30

申込方法：事前に本館の3階カウンターに申し込んでください。

## 専修大学図書館だより 第46号

発行日：2001年11月1日

編集・発行：専修大学図書館  
館長 久重 忠夫

## 専修大学図書館

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1  
〒214-8580 Tel. 044-911-1274(直)

## 専修大学図書館生田分館

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1  
〒214-8580 Tel. 044-911-7138(直)

## 専修大学図書館神田分館

東京都千代田区神田神保町3-8  
〒101-8425 Tel. 03-3265-8339(直)

URL: <http://www.senshu-u.ac.jp/>  
(専修大学トップページ)